JEITA

電子情報技術産業協会規格

Standard of Japan Electronics and Information Technology Industries Association

JEITA RC-8127C

ダイナミックスピーカ

Electrodynamic loudspeakers

2001 年 3 月制定
2022 年 3 月改正

作　成
AV&IT 標準化委員会
AV & IT Standardization Committee

発　行
一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

目　次（CONTENTS）

ページ

まえがき
1　適用範囲（Scope） 1
2　引用規格（Normative reference） 1
3　用語の定義（Terms and definitions） 1
4　種類（Type description） 2
4.1　性能による区分（Performance） 2
4.2　放射方式による区分（Radiation form） 2
4.3　構造による区分（Structure） 2
4.4　用途による区分（Use） 2
4.5　振動板の形状，材質などによる区分（Diaphragm shape and material） 2
4.6　その他の区分（Others） 2
5　形状及び寸法（Shape and dimensions） 2
5.1　形状（Shape） 2
5.2　主要寸法（Dimensions） 2
6　定格の推奨値及び許容差（Recommendation and tolerance of rated conditions） 3
6.1　基準面（Reference plane） 3
6.2　基準点（Reference point） 3
6.3　基準軸（Reference axis） 3
6.4　定格インピーダンス（Rated impedance） 3
6.5　特性感度レベル及び出力音圧レベル
（Characteristic sensitivity level and Output sound pressure level） 3
6.6　端子配置（Marking of terminal） 3
6.7　共振周波数（最低共振周波数）（Resonance frequency） 3
7　試験項目（Item for test） 4
8　測定法（Measuring methods） 4
8.1　入力試験（Input power test） 4
8.2　共振周波数（最低共振周波数）（Resonance frequency） 4
8.3　インピーダンス（Impedance） 5
8.4　出力音圧レベル（Output sound pressure level） 6
9　外観，構造その他の特性（Appearance，construction and other characteristics） 6
9.1　耐熱性（Heat resistance） 6
9.2　耐寒性（Cold resistance） 6
9.3　耐湿性（Moisture resistance） 7
9.4　防磁性（Magnetic shield） 7
9.5　防滴性（Drip-proof） 8
9.6　防水性（Water-proof） 8
9.7　耐傾斜落下性（Slanted drop resistance） 8
10　表示（Marking） 8
11　文献（Bibliography） 9
解説（Explanation） 13

まえがき

この規格は，一般社団法人 電子情報技術産業協会（**JEITA**）の AV&IT 標準化委員会 音響変換機器標準化グループにおいて作成し，同委員会で審議，承認し改正した。

この規格は，**JEITA TSC-16**（電子情報技術産業協会規格類の作成基準）の作成基準によって作成した。

これによって，**JEITA RC-8127B**:2017 は，この規格に置き換えられた。

この規格は，著作権法によって保護されている著作物であるため，許可なくこの規格の一部又はすべてを複製，転載することを禁止する。

この規格は，この規格の一部が，工業所有権（特許権，実用新案権，意匠権など）に抵触する可能性に関係なく制定されている。一般社団法人 電子情報技術産業協会は，このような工業所有権に係る確認について，責任はもたない。

電子情報技術産業協会規格

ダイナミックスピーカ

Electrodynamic loudspeakers

1　適用範囲

この規格は，永久磁石を使用したダイナミックスピーカユニット（以降，スピーカという。）に関する寸法，性能，表示などを規定する場合の基準及び試験方法について規定する。

2　引用規格

次に掲げる規格は，この規格に引用されることによって，この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで，西暦年を付記してあるものは，記載の年の版を適用し，その後の改正版（追補を含む。）には適用しない。西暦年の付記がない引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。

JEITA CP-2903B　防磁形スピーカシステムの分類及び測定方法

JEITA RC-8101E　音響機器用語

JEITA RC-8124D　スピーカシステム

JIS C 0920　電気機器器具の外郭による保護等級（IP コード）

JIS C 5532　音響システム用スピーカ

JIS Z 8106　音響用語

3　用語の定義

この規格で用いる主な用語の意味は，**JEITA RC-8101E**，**JEITA RC-8124D**，**JIS C 5532** 及び **JIS Z 8106** によるほか，次による。

a)　形式

種類，形状，寸法を組み合わせてユニットを表現したもの。

b)　公称寸法

ユニットの外形寸法から規定した便宜的に用いる呼称（**付表 1**，**付表 2** 参照）。

注記　公称寸法は，口径又は呼び径と呼ばれる場合がある。

c)　コーンスピーカ

コーン状の振動板をもち，音波を直接放射するスピーカ。

d)　ドームスピーカ

ドーム状の振動板をもち，音波を直接放射するスピーカ。

e)　リボンスピーカ

リボン状の振動板をもち，音波を直接放射するスピーカ。

f)　平板スピーカ

平板状の振動板をもち，音波を直接放射するスピーカ（振動板背面形状が円錐形のものも含む。）。

g)　防磁スピーカ

磁気回路から漏えいする磁束を，遮へい，打消しなどの手法によって低減させたスピーカ。